

報道関係者各位

ご案内

当事者の現状を、国政や社会に届けるために活動します！
『仕事と不妊治療の両立に関するアンケート Part2』 開始！

『不妊患者の経済的負担の軽減等を目指すための署名』も継続中

NPO 法人 Fine (Fertility Information Network = ファイン) <http://j-fine.jp/>

不妊患者をはじめ不妊で悩む方をサポートする、不妊体験者によるセルフサポートグループ「NPO 法人 Fine(ファイン)」は、不妊治療環境向上のためにさまざまな活動を行なっています。多くの方々が不妊治療および不妊について関心を持っていただけるように、ぜひ、貴媒体にて取り上げていただければ幸いです。

当事者による大規模なアンケート調査を実施中！

Fine では、2017 年 3 月末から「仕事と不妊治療の両立に関するアンケート Part2」を開始しました。2014 年に行なった「仕事と治療の両立についてのアンケート」では **2,265 人** と非常に多くの方に回答していただき、対象者のうち 92% が「仕事と治療の両立は困難」と答えました。「働きながら治療を行なう多くの女性が、仕事と治療を両立させるためのサポートを得にくく、困難を感じている」現状が、初めて明確な数値で示され、数多くのマスメディアで取り上げられています。またその結果をもとに、2016 年には国に「不妊治療と仕事の両立・経済的負担軽減に関する要望書」を提出いたしました。

今回の調査では、前回調査から約 3 年が経過した現在の、当事者の「仕事と不妊治療の両立についての現状」、そして「企業による仕事と不妊治療の両立に対するサポート制度の現状と当事者の要望」を把握したいと考えています。さらに、アンケート結果から当事者の声をまとめ、再び国に要望書を提出する予定です。また、アンケート結果はプレスリリースや学会発表などにも使用していきます。

「仕事と不妊治療の両立に関するアンケート Part2」

URL (PC・スマートフォン・タブレット) <https://questant.jp/q/Fine2017>

アンケート締切：2017 年 10 月末(予定)

プレゼント応募締切：第 1 回締切 2017 年 6 月末

第 2 回締切 2017 年 10 月末(予定)



アンケート用 QR コード

前回実施のアンケート結果 http://j-fine.jp/activity/enquate/shigoto_anke2015.pdf

全国で署名活動を実施中！（第 8 回：2017 年 4 月末まで）

<http://j-fine.jp/activity/act/shomei.html>

Fine では、2007 年からこれまでに、不妊治療の経済的負担の軽減等を目指し、7 回の全国的な署名活動と国会請願を実施しました。4 回目の国会請願では衆議院で採択され、内閣へ送付されました。また 7 回目は直接、厚生労働大臣に署名と共に要望書を、一億総活躍担当大臣へは要望書を届け、当事者の声を伝えました。

8 回目となる今回は、下記 2 項目について署名を集め、国へ提出予定です。

1. 特定不妊治療費助成事業より給付される助成金の増額と制度（所得制限・回数制限の緩和）の見直し
2. 仕事と治療の両立ができる社会的な理解と環境整備

現在、5.5 組に 1 組のカップルが不妊の検査や治療を受けたことがあるといわれています()。不妊治療では、体外受精などの高額な治療の大部分は、健康保険の適用されない「自費診療」で行なわれており、患者の大きな経済的負担となっています。2004 年度からスタートした「特定不妊治療費助成事業」は多くの患者の助けになる一方で、2013 年度からは一部減額、2014 年度からは順次年齢による制限および助成回数が削減されています。経済的理由から治療を先延ばしにして、その間に歳を重ねて妊娠が難しくなる場合もあるなど、この制度はさらなる見直しが望まれています。

また仕事をしながら治療をしている場合、月経周期に合わせての頻繁な通院や、体の状態によって直前に決まる受診日のために仕事の調整が難しく、周囲に打ち明けづらい内容であることも重なって、仕事と治療の両立が困難になる場合があります。そのため、退職したりパートなどに働き方を変えざるを得ない人もいます。周囲の理解不足のために休みを取得しにくく、なかには退職勧告をされるケースまであります。そこで、すべての女性がキャリアを中断せずとも不妊治療・妊娠・出産ができるように、社会的な理解や環境整備の仕組みづくりの改善を要望しています。

Fine ではこのような現状を踏まえながら、今後も当事者の立場から活動を続けてまいります。

国立社会保障・人口問題研究所「第15回出生動向基本調査」より

http://www.ipss.go.jp/ps-doukou/j/doukou15/NFS15_gaiyou3.pdf

<参考資料>

- ・厚生労働省 制度改正(2014年度から)について：<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000039733.html> (動画あり)
- ・「特定不妊治療助成事業」減額に関する要望書(NPO法人Fine)：<http://j-fine.jp/activity/act/yobo-joseikin1304.pdf>
- ・「要望書」について：<http://j-fine.jp/activity/act/index.html>

NPO 法人 Fine これまで・今後の活動(抜粋)

日本初! eラーニングによる「不妊ピア・カウンセラー養成講座」開講中!

日本で初めて、不妊に特化した不妊ピア・カウンセラーを養成。2005年より12期連続で開講。

1年で集中して学ぶ「ライセンス取得1年短期集中コース」受講生受付中!(6月30日まで)

参考：<http://j-fine.jp/e-pia/index.html> 「Fine認定ピア・カウンセラー紹介」<http://j-fine.jp/peer/>

第6回子宮移植研究会学術集会 開催!(2017年4月9日(土) 理事長・松本が学会長を務めます)

子宮移植の当事者(ドナーとレシピエント)が日本で初めて登壇、講演します!(取材ご希望の方は事前にご連絡ください)

<http://js-ut.org/wp-content/uploads/2017/03/20170327.jpg>

『Fine祭り』を2016年まで9年連続で開催 2017年秋に全国6カ所で開催予定!!

大きなホールでの講演会や全国各地でのおしゃべり会など、毎年趣向を変えて開催しています。

参考：http://j-fine.jp/activity/event/fine_matsuri.html

不妊に関するさまざまなアンケートを実施

2010年「不妊治療の経済的負担に関するアンケート」を実施(回答者数/1,111名)

2012年~2013年「不妊治療の経済的負担に関するアンケート Part2」を実施(回答者数/1,993名)

2014年「仕事と治療の両立についてのアンケート」を実施(回答者数/2,265名)

結果はFineウェブサイト、学会や講演会などで発表。他にもさまざまなアンケートを実施しています。

参考：<http://j-fine.jp/activity/enquate/index.html>

学会・研究会への参加・発表

2009年 ESHRE(欧州生殖医学会)患者部門にてゲストスピーカーとして発表(オランダ・アムステルダム)

2012年 「第11回 iCSI(国際不妊患者団体連合)会議」を共催(京都)

2012年 「第4回 ASPIRE(アジア太平洋生殖医学会)会議」にて iCSI セッションを共催(大阪)

2013年 厚生労働省「不妊に悩む方への特定治療支援事業等のあり方に関する検討会」審査員 など

その他 JISART 施設の認定審査に患者代表審査員として参加(2005年~現在)

~Fine 会員は約1,950名、さらに SNS も開設! 登録者約1,700名(2017年3月現在)~

NPO 法人 Fine(ファイン) <http://j-fine.jp/>

〒135-0042 東京都江東区木場6-11-5-201 TEL 03-5665-1605 FAX 03-5665-1606

* 常駐ではありませんので、できるだけメールにてお問い合わせいただければ幸いです

~ 当りリリースについてのお問い合わせ ~

E-mail NPO 法人 Fine 広報窓口: finekouhou@j-fine.jp